

# 2014年ジャナリツ偵察報告

11月18日

偵察隊 居谷千春

ラサから羊八井(Yáng bā jǐng)経由、扎那日字(Zhā nà rì zì)登山基地となる宁中(Níng zhòng)の宿舎まで移動する。テントが張れればとは思ったが、宿舎を探すことになるのではないかと感じていた。10:25 大昭寺の北側、北京東路の拉萨刚坚(Làsà gāng jiān) 饭店発、晴れ、659H,22.9℃

セラ路を北上、扎基路(Zhā jī lù)のチベット自治区登山隊体育館（登山総合訓練センター・登山救援隊）で準備していた武漢隊と合流。体育館には「不畏艰险 顽强拼搏 团结协作 勇攀高峰」(Bù wèi jiǎn xiǎn wán qiáng pīn bó tuán jié xié zuò yǒng pān gāo fēng)の大きな字がレリーフになっている。奥の壁では登攀訓練中であつた。彼らがレンタルした三菱パジェロとともに出発 (10:47)。



P-347 体育館



P-350 人工壁

北京西路から、デブン寺の山塊の末端を回り込んで青蔵公路 (G109) に入る。堆龙德庆(Duīlóngdéqìng)は現在ではラサ市ではあるが、昔は別の行政管轄であつたようだ。今は立派なシティーの雰囲気である。看板によると堆龙德庆から当雄(Dāng xióng)まで 143Km、那曲(Nàqū)までは 305Km、3年前に鉄道(青蔵線)で通つた所ではあるが、今回は堆龙曲に沿って高度を上げていく。前方の桑木(Sāngmù)横には高所トレによさそうな岩山がある。本隊ではまずラサ周辺での高度順化が必要だろう。候補に挙げてみたい。



P-364 国道 109 へ



P-365a トレニング候補岩

11:20 羊达(Yáng dá) 周辺の重量チェック場に続き、11:47 古荣民族文化村(Gǔ róng mínzú wénhuà cūn)

で公安チェックを受ける。 はじめて鉄道をくぐり右側になる所があったが、すぐにまた左側(堆龙曲(Duī lóng qū)右岸)に移る。12:13 马乡(Mǎ xiāng) (約 3850m) 通過、12:22 莫嘎乡(Mò gā xiāng)通過、12:28 德庆(Dé qīng)通過。ここからはもう Kyizi(6206m)が見える。両側の山はかなり狭まってきてゴルジュの感じになってくる。鉄道のトンネルは堆龙曲右岸の山中に消えて行く。川に流れ込む水も凍っている。何回か川に沿って蛇行すると急に視野が開け、12:53、kyizi が正面に見える羊八井(約 4250m) に到着する。南西方向に穷母冈日(Qióng mǔ gāng rì: QG, Qungmo Kangri) が見えるが Kyizi 山塊がかなり大きいので、現実には小さく見えるだけ。望遠写真では数少ない7000m峰は立派だ。東北方面にはかなり大きく念青唐古拉山(Niàn qīng tánggǔlā shān: NQ: Nyainqentanglha)が見える。

昼食を可愛い坊やが二人のおかあちゃんが頑張っている少し洒落た小吃 (Wi-Fi 可能) でとる。唐木君・松村君は食欲旺盛、Tserin はベジタリアンとのことで肉は食さない。





N-104a



N-113 Qungmo Kangri 7043m

14:12 昼食を終え出発。



N-107a 右 NQ 主峰群から左 Chaggar Kangri 山群、次写真につづく



N-108a 左端谷が Gurin Qu



N-122a 左 : Kyizi 中央谷が Gurin Qu



N-123a 右 : Kyizi 中央山群左端が QG

14:45、NQ 山群近いドライブインでトイレ・写真撮影休憩。拉多岗(Lā duō gang)附近。約 4550m。道路としてはこの周辺が最も高いところである。すなわち Chaggar Kangri の南谷 (LangbuQu) 以西の谷の水は羊八井で堆龙曲へ流れ込むが、Chaggar Kangri の北谷 (BilangQu) 以東の谷の水は宁中で省道 202 号線の沿い流れ下り热振藏布(Rè zhèn cáng bù)へ流れる。すなわちこの辺は広大な平地に見えるが、非常に微妙な分水領域であるのだ。



N-168mix : G109 道路沿いドライブインからの東~南望・羊八井東山群 (名称不詳)。  
左方面はニンチョン・当雄方面、右方面は羊八井方面。



N-174a : G109 道路沿いドライブインからの西~北望。左端が Kyizi 山群、右は Chaggar Kangri。



N-175a : 左端が Chaggar Kangri 山群、真中が Pajan Zhari 山群、右端は NQ 山群・Mirador6053m。



N-181a : 茶馆と NQ 山群



N-176a 望遠で Kyizi 山群を見る。

N-108a 左端谷が Gurin Qu



N-184b:数少ない唐木君の写真

15:02 出発、しばらく走ると高度を下げていく。NQ 山塊の末端附近がこの広い平坦な街道が非常に狭まる。そしてネックを抜けると、高度を下げていることがわかる。下がりきると宁中乡沙子岗(Níng zhòng xiāng shāzǐ gāng)。今回の我々の目的エリアで、登子曲布(Dēng zǐ qū bù) (TQ)、扎那日字(ZR) 山塊が見えてくる。目的山塊及び更に北東に伸びる NQ 西部山脈の雪の量は3年前の10月に比べても、圧倒的に少ない。ラッキーと考えて

ていいだろう。



N-197a : NQ 山塊のネックを過ぎ、高度を下げる部分。

本日、どこで寝るか泊るかについては連絡官と徳庆欧珠(Dé qìng ōu zhū)が頻繁に連絡をとっている。15:30、宁中乡中心(約4200m)着、16:25 沙子岗村、16:37 茶館等、行ったり来たり、うろうろしながら、適当な宿泊場所を探す結果的には、省道202号線分岐周辺にある宁中度假村(dùjiàcūn)桑珠达吉藏(sāng zhū dá jí cáng)餐厅(cāntīng)というスパに17:25頃、落ち着く。



このスパは、本隊でも結局使用する可能性が高い

用し早々に寝る。

三部屋（208 号室：日本メンバー、209 号室：連絡官・ドライバー、210 号室：中国メンバー）に分け、食事メニューを見て注文する。中国メンバーは食事後はかけ麻雀を始め、今までの遠征隊の歴史の中で、もっともひよった宿泊となったが、いたしかたない。日本メンバーは食事後、徐々に高山病症状がではじめたので、高山病の薬を服用し早々に寝る。

11 月 18 日分 以上